

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第9回ネットワーク仮想化（NV）研究会

委員長 中尾彰宏（東大） 副委員長 島野勝弘（NTT）

期日 平成26年4月11日（金）

会場 NTT横須賀研究開発センタ（横須賀市光の丘1-1）

概要

情報通信システムは様々なサービス提供に利用され、社会・経済活動の根幹を支える必要不可欠な社会インフラになりつつあります。また、クラウドに代表されるように、情報通信リソースの所有から遠隔利用へとパラダイムシフトが加速してきております。このような中、柔軟なネットワークサービスを提供する技術として、SDN、NFVの実現への動きが活発化しており、今後、様々な要求に対応し、かつ遠隔からの安定したサービス提供技術がますます重要になると推測されます。そこで、これまで注力してきた量的高性能化に加え、エンドユーザの多種多様な要求を満たすカスタマイズ可能な情報通信インフラの実現、最新機能を迅速に導入可能とする持続的な進化技術、また増大するネットワークトラフィックの効率的な収容や巨大化する情報通信システムの管理容易化、また遠隔からの質の高い安定した情報通信リソースの提供技術等の開発が強く期待されております。

これら多様な要求に応える次世代のネットワークを実現するため、ネットワーク資源、計算機資源、及びストレージ資源等から構成される物理インフラ上に様々なサービスを提供可能とする論理的なネットワークを構成するネットワーク仮想化技術の確立が必須であります。本研究会では、このような観点から以下に例を示すテーマで研究発表を募り、様々な分野から議論を行います。

- ・多様なカスタマイズネットワークを実現するネットワーク仮想化アーキテクチャ
- ・ネットワーク仮想化をベースとした革新的アプリケーション
- ・マルチレイヤ統合制御、及びネットワーク仮想化運用管理技術
- ・ネットワーク仮想化をベースとしたデータセンターネットワーク技術
- ・ネットワーク仮想化、セキュアサービス提供におけるセキュリティ技術
- ・NFV/SDN 関連技術
- ・これら上記技術に関連するテストベッド関連研究、実験成果等

【講演申込】 3月14日（金）までに、講演題名、概要（数行）、著者、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

【問合せ】 幹事

田上敦士（KDDI 研）

E-mail：tagami@kddilabs.jp

清川雅博（NICT）

E-mail：kiyokawa@nict.go.jp

◎ネットワーク仮想化研究会のホームページ：<http://www.ieice.org/~nv/>

主催 ネットワーク仮想化時限研究専門委員会

●第7回情報ネットワーク科学（NetSci）研究会

委員長 会田雅樹（首都大東京） 副委員長 中村 元（KDDI）・成瀬 誠（NICT）・巳波弘佳（関西学院大）

期日 平成26年5月16日（金）

会場 首都大学東京秋葉原キャンパス

講演申込締切 3月14日（金）

第7回情報ネットワーク科学研究会では一般講演を募集致します。

◎講演申込に必要な情報や連絡先など詳細については情報ネットワーク科学時限研究専門委員会のホームページに掲載致しておりますので、御参照下さい。 <http://www.ieice.org/~netsci/>

◎第7回情報ネットワーク科学研究会では招待講演3件：盛合志帆氏（NICT）、四方順司氏（横浜国大）、森達哉氏（早大）も予定致しております。

【問合せ】

井上 武（NTT）・久保 健（KDDI）・村山立人（富山大）・作元雄輔（首都大東京）

E-mail：netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

●第5回安全・安心な生活のための情報通信システム (ICSSSL) 研究会

委員長 岡田和則 (NICT)

副委員長 田村 裕 (中大)・中野敬介 (新潟大)

安全・安心な生活のための情報通信システム (ICSSSL) 時限研究専門委員会では、第5回研究会を、下記のとおり、東北大学にて開催致します。本研究会は、東日本大震災の経験から国内外の巨大災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことを目標とし設立された東北大学災害科学国際研究所や災害に関する東北大学の研究機関の御後援を頂く予定です。安全・安心な生活に役立つ情報通信システムに関する研究について、幅広く御研究の発表を募集致しますので、奮って御応募下さいませよう、よろしくお願い致します。

私たちの日常生活は、大地震、豪雨、竜巻等の自然災害から、交通事故や誘拐等児童への犯罪まで、様々な脅威にさらされています。これらの被害を避ける、軽減する、更には、大規模災害時の復興や地域再生のために、情報通信システムが果たせる役割は大きいと考えられます。当研究会では、真に役立つ情報通信システムの実現のため、これらの情報通信技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討を目指しています。

対象分野：安全・安心な生活のための情報通信システムに関する以下の分野

- ・アドホックネットワーク構築技術・輻輳制御技術
- ・高信頼無線アクセス技術・コグニティブ無線技術
- ・広帯域無線伝送技術・ネットワークシステム設計技術
- ・最適配置技術 ・ITS 技術
- ・センサネットワーク構築技術 ・災害情報学
- ・災害時行動心理学 ・危機管理情報学

上記に限らず、幅広い分野からの研究発表を募集致します。

発表を御希望される方は、論文題目、著者名、所属、連絡先を、下記の本委員会幹事までお知らせ下さい。

期日 平成26年6月12日(木)、13日(金)

会場 東北大学青葉山キャンパス総合研究棟(仙台市青葉区荒巻字青葉6-6)

発表申込締切：4月14日(月)

参加費：一般2,000円、学生1,000円

【申込先・問合せ先】

井ノ口宗成(新潟大)

TEL [025] 262-6115, FAX [025] 262-7050

E-mail: inoguchi@gs.niigata-u.ac.jp

川上 博(NTTドコモ)

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

E-mail: kawakamih@nttdocomo.co.jp

◎最新情報と過去の研究会プログラムを下記 Web ページに掲載致しておりますので御参照下さい。

<http://www.ieice.org/ess/icsssl/>

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会

●第4回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 粕川秋彦(古河電工) 副委員長 横井秀樹(芝浦工大)

光デバイスは、より高集積、高性能と多機能化を目指して研究開発が盛んに進められています。その中で、それらの高度な光デバイスを実現するのに必要不可欠な作製・製造技術の重要性がより一層高まってきており、多方面で研究開発が行われています。具体的には、薄膜低拡散の結晶成長技術、導波路等の微細で高均一加工技術、同種/異種導波路の高効率な接続技術・集積技術や光素子/光部品の高密度で低コストな実装技術などです。

第4回集積光デバイスと応用技術研究会では、上記のような、光デバイスの作製・製造技術に関連する講演をはじめ、集積光デバイス技術とその応用に関する講演を広く募集します。多数の方の御応募と御参加をお待ちしています。

日時 平成26年6月27日(金) 13:30~17:35(予定)

会場 NTT フォトニクス研究所(厚木市森の里若宮3-1. 小田急電鉄:愛甲石田駅. <http://www.phlab.ecl.ntt.co.jp/location/index.html>)

テーマ「光デバイス用プロセス技術・実装技術の進展」

内容(予定)

化合物半導体の結晶成長/加工技術、光デバイスの集積技術/実装技術、その他集積光デバイス技術一般

発表申込 3月10日(月)までに、講演題名、概要(数行)、著者、所属、連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)を下記幹事までお知らせ下さい。

原稿提出 5月26日(月)締切。A4判、6枚程度。講演申込者には執筆要領を送付します。

参加資格 特に問いません。

参加申込 研究会開催当日、会場にて受付けます(事前申込み不要)。

参加費 一般参加者5,000円、学生1,000円

【講演申込・問合せ先】 幹事

向原智一(古河電工)

TEL [0436] 42-1771, FAX [0436] 42-1775

E-mail: tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一(京工繊大)

TEL [075] 724-7423, FAX [075] 724-7400

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

◎最新情報は、集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~ipd/jpn/welcome.html>

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

協賛(予定) IEEE Photonics Society Japan Chapter

●第27回回路とシステムワークショップ

第27回「回路とシステムワークショップ」を昨年に続き、真夏の淡路島で開催致します。本ワークショップは、回路とシステムに関連した分野の研究者や技術者が集い、招待論文や投稿論文を通じて、分野内だけでなく分野間にまたがる境界領域の課題解決と将来の研究分野の探求を目的としています。特別招待講演では、アンドロイド(人間酷似型ロボット)研究の第一人者である石黒浩先生(大阪大学)に御講演をお願いしております。回路とシステム技術の集大成として存在するロボットについて、興味深いお話を頂けると幸いです。また、今回は新しい試みとして小学生向けの研究体験を企画しました。体験・発見・理解・感動の喜びを未来の研究者である子供たちに伝えたいと思います。実りある真夏のワークショップとなるよう、皆様からの積極的な論文投稿をお願い申し上げます。

第27回 回路とシステムワークショップ実行委員長 川村 新(阪大)

期日 平成26年8月4日(月)、5日(火)

会場 淡路夢舞台国際会議場

Web ページ:企画セッションなど最新の情報は、次の Web ページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/ess/kws/>

特別招待講演:人間・アンドロイド・メディア(仮) 石黒 浩(阪大)

投稿分野:本ワークショップでは以下の特別セッションを開催します。以下の特別セッションテーマに関する論文投稿を歓迎します。

「カオス制御」「学生セッション(デジタル信号処理)」「低消費電力技術」「フォールトトレラント設計」

更に、次の分野に関する一般論文投稿を歓迎します。

非線形問題:カオス、分岐、フラクタル、非線形ダイナミクス、非線形回路、非線形振動論、複雑系制御理論、非線形データ解析、非線形時系列解析、複雑ネットワーク理論、学習、ニューラルネットワーク、生体システムと応用、最適化、精度保証付き数値計算

回路の数値解析:回路の数値解析理論、回路/デバイス/配線シミュレーション、回路/デバイス/配線モデル、伝送路解析、RF解析、シミュレーション応用最適化技術、電磁界シミュレーション、シグナル/パワーインテグリティ解析、電源系解析、電力解析、回路縮約、ばらつき考慮シミュレーション、並列・分散シミュレーション、信頼性シミュレーション(ESD、ノイズ耐性、経年劣化)

アナログ回路:イメージャ、センサ、MEMS、フィルタ、アンプ、AD/DA、PLL/DLL、非線形回路、電源、RF(ミキサ、VCO、LNA、PA)、高速インタフェース、光通信用回路、無線通信用回路(WLAN、RFID、ミリ波、NFC)、エネルギーハーベスティング、無線電力伝送用回路、ミックスドシグナル、低電圧・低消費電力回路、医用電子回路

デジタル信号処理:基礎信号処理/フィルタ設計、適応信号処理、非線形信号処理、音声・音響信号処理、画像・映像信号処理、通信用信号処理(モバイル、ワイヤレスを含む)、システム実現技術、セキュリティ応用、生体信号処理、信号処理応用

VLSI設計技術:設計環境・ツール、組込みシステム、リコンフィギャラブルシステム、マルチコア・メニーコア設計、NoC設計、システムレベル設計、IPベース設計、高位合成、論理合成・検証、レイアウト設計・検証、アナログCAD、タイミング解析、テスト・診断、低消費電力設計、高信頼性設計、セキュア設計、耐ノイズ設計、DFM、

リソグラフィ CAD

離散システム理論：ソフトウェア仕様記述，形式手法（フォーマルメソッド），ペトリネットと離散事象システム，ハイブリッドダイナミカルシステム，グラフ・ネットワーク理論，離散最適化，スケジューリング，アルゴリズム論，並列・並行・分散処理，分散協調システム，システムバイオロジー

※投稿件数によっては，ポスターセッションとなる場合がございます。

※新しいコンセプトの提案など，意欲的な論文の投稿も期待しております。

投稿申し込み：邦文または英文の論文もしくはそれを的確に要約した抄録（論文の主旨及び正当性を十分に判断できるもの）を Web ページより電子的に御投稿下さい（電子投稿の詳細は Web ページを御参照下さい）。ただし，査読のある論文誌等に発表されたものは対象外とします。図面を含み A4 判 3～6 ページ（形式自由）で御執筆下さい（論文集原稿の執筆要項は Web ページに掲載されています）。なお，論文集原稿も 6 ページ以内となりますので御配慮下さい。査読の上，下記期日までに採否通知を行います。電子投稿が不可能な場合は，下記連絡先まで御連絡下さい。

連絡先：永山 忍（論文担当幹事）

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1

広島市立大学

TEL〔082〕830-1599, FAX〔082〕830-1568

E-mail : kws-27paper@mail.ieice.org

日程：投稿締切 4月18日（金） 厳守

採否通知 5月30日（金） 頃

論文集原稿締切 6月16日（月） 必着

備考 本ワークショップ開催後に，和文論文誌 A にて「回路とシステム小特集号」が，英文論文誌 A にて「SoC 設計手法小特集号」が企画されています。

主催 電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ「システムと信号処理」サブソサイエティ：回路とシステム研究専門委員会／VLSI 設計技術研究専門委員会／信号処理研究専門委員会／システム数理と応用研究専門委員会，「非線形理論とその応用」サブソサイエティ：非線形問題研究専門委員会

協賛 電気学会；電子回路研究専門委員会，IEEE Circuits and Systems Society Japan Chapter，IEEE Signal Processing Society Japan Chapter，IEEE Circuits and Systems Society Kansai Chapter，電子情報通信学会；スマートインフォメディアシステム研究専門委員会